

ナミビア - コンテナ詰め木炭の自然発火について (情報提供：P&I Associates (Pty) Ltd.)

昨今、ナミビア・Walvis Bay から南アフリカ・Cape Town に向けて航行中のコンテナ船上で火災事故が発生した。

- 本船は Walvis Bay で袋入り木炭を詰めたコンテナを船積みしていた。出港から約 12 時間後、甲板上に積載されていた当該コンテナから火災が発生し、周辺コンテナに延焼が及んだ。乗組員による消火作業後、本船は近隣港へ緊急離路し、焼損貨物を揚荷した。
- 船積み前に荷送人から本船に対して提出された関係書類上は、当該貨物は自然発火性物質に関する国連試験基準に基づく試験に合格した非危険物と記載されていた。
- ナミビア産木炭のコンテナ輸送に起因する火災事故は P&I Associates (Pty) Ltd.にとって初の事例である。South African Maritime Safety Authority (SAMSA；南アフリカ海上安全局) においても過去に同種の事故は報告されていない。
- 当面、ナミビアでコンテナ詰め木炭を船積み予定の船舶においては以下の対策が推奨される。
 - 貨物サンプルの試験及びコンテナ詰め作業がいつ実施されたのか荷送人に確認を求める。IMSBC コードの規定により、当該貨物は曝気証明書 (Weathering Certificate) に基づき船積み前に 13 日以上外気に晒したものであること及び国連の自然発火性試験基準に基づく試験を実施したものであることが要求される。
 - 緊急時における当該コンテナへのアクセスを確保するため、甲板上の 2 段目より高い位置に積載しない。
 - 乗組員による定期的な巡回点検を徹底する。
- 上記対策はナミビア産木炭に限定せず、同種の貨物を船積み予定の船舶においても推奨される。